

区立公園に適した品種

品種の選定にあたっては、基本方針と立地ごとの将来像を踏まえ、個々の公園や立地ごとに、空間のサイズ、地域の要望、これまで植栽されていた品種の雰囲気、管理頻度等を考慮検討します。中型や小型の品種を含む比較的強健な品種から選んでいきます。下表の桜が区立公園に適した品種の一例です。

花期 サイズ	3月上旬	3月中旬	3月下旬	4月上旬	4月中旬	4月下旬
大型		【コシヒガン】 【イトヒガン】	【シダレザクラ】	【マイヒメ】 【ジツアイカノ】 【ソメイヨシノ】		【カンザン】 ギョイコウ
中型	【カワヅザクラ】				【オモイカワ】 【アマノカワ】 【センタインダレ】	
小型			タカゴ 【オカメ】			

-重線:一重 二重線:半八重・八重・菊咲き 斜字:枝垂れ 【 】:特に強いと思われる品種
花色: 紫紅 濃紅 淡紅 白 黄緑

*温暖化の影響により都市部では上記表より10日以上開花が早まっている

桜の画像提供:公益財団法人日本花の会 ※画像の著作権は公益財団法人日本花の会に帰属します。無断転載を禁止します。



桜守活動について

桜守活動とは、地域の方が日常的に桜を見守り、保全していくボランティア活動のことです。区立公園の桜を保全していくためには、地域の皆様の参加が大きな力になります。地域の皆様とともに、区立公園の桜の景観を将来に伝えていきます。

<桜守活動の例>

- ◆ 桜の継続的な観察…開花状況の記録や枯枝、病気等の異常の発見を行う
- ◆ 施肥や水やり……季節ごとに肥料を施す、土壌の乾燥を防ぐ
- ◆ 花芽観察……花芽の数を観察し桜の健康状態を把握する
- ◆ 清掃活動……開花時や落葉時の清掃を行う、落ち葉堆肥を作る など



花芽観察

目黒のサクラ保全事業の流れ

1

樹木診断

樹木医による診断を行い、個々の桜の状態を把握します。倒木の危険のある桜については先行して伐採を行い、安全確保を図ります。

2

サクラ再生実行計画の作成

桜の保護、植替えについて地域の皆様と検討を行い、地域に合ったサクラ再生実行計画を作成します。

3

保全・更新

サクラ再生実行計画に基づき、桜の伐採や抜根、植替えを行います。また、弱っている桜を保護します。

目黒のサクラ基金にご協力をお願いします

目黒のサクラ基金は、ふるさと目黒の桜のある風景を後世につたえるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは下記の目黒区公式ウェブサイトをご覧ください。みどり土木政策課までお問い合わせください。

URL: <https://www.city.meguro.tokyo.jp/midori/kusei/yosan/sakurakikin.html>



ふるさと
チョイス



ふるさと
パレット



楽天
ふるさと納税

お問い合わせ先

目黒区都市整備部みどり土木政策課

電話:03-5722-9745 FAX:03-3792-2112

メール: midoridoboku04@city.meguro.tokyo.jp



ふるさと目黒の
桜を後世に伝える



区立公園 サクラ再生 実行計画

令和5年3月
目黒区



目黒のサクラ
再生実行計画HP

春の高揚感を感じられる、健全で見ごたえのある桜を将来に引き継ぐ

■ 主な立地の将来像とサクラ再生の手法

桜の生育は立地環境の影響を強く受けます。
将来像や維持管理の方針は公園内の立地ごとに設定します。



区立公園のサクラ再生の方針

保 保全タイプ

剪定等の標準的な維持管理に加え、適宜、生育環境改善を行い、今ある桜が健全に生育できる環境を整備・維持します。

再 再生タイプ

今ある桜を保全しつつ、健全化困難な桜の段階的な世代交代や、適正間隔での植替えを行い、桜の景観を再生します。

充 充実タイプ

今ある桜を保全しつつ、日照の確保や隣地への越境に注意しながら補植を行い、見ごたえのある桜景観に充実します。

区立公園全体のサクラ再生の手法

以下の環境改善と管理の方法で桜の景観を再生します

保全 今ある桜は保全、健全化困難な桜は植替え

植替 空間サイズにあった中・小型品種を含む比較的強健な品種で植替え

・適切な植栽間隔を確保

環境 エアレーションなどを行い土壌の通気性を高め根の再生を促進

・肥料を与え、新たな枝葉の萌芽・再生を促進

日照 隣の樹木を剪定し日当たりを改善・維持

・近くに衰退した樹木があれば間引き

管理 木を腐らせるキノコを監視、健康状態を把握

・太枝の剪定は適切な位置で行い、キズを癒合材で保護

再 外周植栽 198本 50か所
公園の外周部で道路や民家に隣接する立地

道路の歩行・走行空間や民家へ伸びた太い枝を剪定したキズ痕が多くあります。

コンパクトな樹形に満開の桜を目指します

- ・隣の樹木を剪定し日当たりを改善・維持します
- ・道路や民家への越境を見越し、計画的・周期的にこまめに剪定します
- ・植替えの際には、適切な日照と樹木間隔を確保し、中型～小型の品種の桜を選定します

保 シンボル樹木 4本 4か所
公園の象徴や地区に古くから残る桜

生育不良の割合が高いです。
長年生育する古木には、枯枝や腐った太い枝を剪定したキズ痕が多く、幹や根元には木を腐らせるキノコも発生しています。

手厚い手当てにより、シンボルに相応しい見ごたえのある桜とします

- ・強度不足の桜は支柱やケーブルで倒木を防止します
- ・エアレーションなどを行い土壌の通気性を高め根の再生を促進します
- ・肥料を与え、新たな枝葉の萌芽・再生を促進します

現状：外周機能植栽帯



現状：シンボル樹木



保 高木点在広場 59本 15か所
遊びや運動を目的とした広場に桜などが点在

利用者の往来により土壌と桜の根が日常的に踏み固められ、肥料分も不足しています。
木を腐らすキノコが発生している桜があります。

根が地表へ露出することを予防し、桜に優しく人も歩きやすい環境を整えます

- ・根が地表に露出する前に定期的なエアレーションなどを行い、土壌の通気性を高め、根の再生と地中深くへ根張りを促進します
- ・公園利用と両立可能であれば、根の周りを柵や草花で囲みます



再 自然樹林植栽 27本 4か所
雑木林や自然林の中の桜

生育不良の割合が比較的高いです。
他の高木に囲まれ樹木間の間隔も狭いため、多くの桜が日照不足により枯れ下っています。

日照を改善し樹林地に映える桜を目指します

- ・近くに衰退した樹木があれば間引きます
- ・比較的健全で若い桜は適地へ移植します
- ・植替えは、他の立地や樹林の外周を検討します

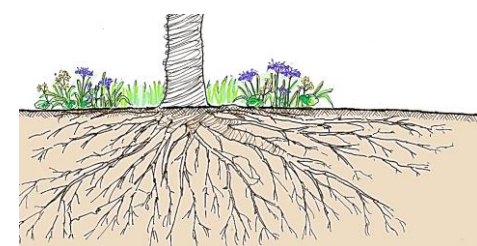
充 芝生・野草広場 50本 7か所
芝生などに覆われた広場に桜が点在

やや土壌が固くなっている場所もありますが桜の生育及び生育環境は比較的良好です。

広い空間と芝生で根が守られていることを活かしたゆとりある樹形の桜を目指します

■ 桜の保護・保全に向けて

桜の根元への立ち入りの抑止
根や土を踏み固めから保護するため、柵を設置するほかに、下のように草花で囲む方法があります。



エアレーション
圧縮空気穴をあけ土をほぐす方法です。

